

第4学年 国語科学習指導案

児童：4年1組 男16名 女13名
指導者：下黒沢 由美子

1. 単元名 一 場面をくらべて読もう 教材名 「一つの花」

2. 単元について

(1) 教材について

本単元「場面をくらべて読もう」は、キーワードに気を付ける読み方を知り、場面意識をもって登場人物の様子や気持ちを読み取ることをねらいとしている。

教材「一つの花」は、どんな世の中であっても変わることのない、親が子を思う心や美しいものを大事にする人間らしい心が、平和への願いとともに描かれている作品である。この作品の中に繰り返される、ゆみ子の「一つだけ」という言葉には、戦争についての深い悲しみが表現されているとともに、作品全体には両親のゆみ子への深い愛情や、「一つの花」に託した父親の強い願いが感じられる。子どもたちは、主人公ゆみ子を通して戦争体験に迫り、平和の重みを実感し、平和を守っていくことの大切さに気付くことができる。

物語の内容は戦中と戦後に大きく分かれており、5つの場面から構成されている。表現上の特色として、「一つだけ」のコスモスと「いっぱい」のコスモスのように戦中と戦後の様子や、プラットホームでの見送りの様子など、対比的な表現が多く見られる。これらの対比的な表現や、繰り返し出てくる言葉「一つだけ」に着目させることにより、ゆみ子たち家族の様子や、両親の思い、戦中と戦後の様子を想像しながら読み取ることができると考える。また、比喻表現や文末表現、ダッシュは、読み手に豊かな想像を促し、指示語や接続語は作品の展開や様子をとらえる上で効果的に活用されており、それらを手がかりに読みを深めることができる。

これらのことから、本教材は登場人物の様子や気持ちを、大事な言葉に気を付けて想像しながら読むことに適した教材であると考えられる。

(2) 子どもの実態

子どもたちは読むことの学習として、「三つのお願い」で話の展開や登場人物の気持ちを読み取り、気持ちや様子が伝わるように音読を工夫することを学習してきた。また、「白いぼうし」では、登場人物の会話や行動、色やにおいなどを表す言葉を手がかりにして、登場人物の様子や人柄、情景を読み取り、ファンタジーの世界を味わうことを学習してきた。

これらの学習を通して、子どもたちは場面の様子や登場人物の気持ちを考えながら音読を工夫したり、登場人物の会話文や行動を表した文に着目し、それをもとに様子や気持ちを想像することができるようになってきている。しかし、文の中のどの言葉に着目して読めばよいかという、より具体的で焦点化された読みの手がかりをもったり、情景や登場人物の様子を豊かに想像して読んだりすることのできる子どもはまだ少数である。

本校の研究内容である「教材文とのかかわり」では、登場人物の会話文や行動を表している部分を見つけ、サイドラインを引き、様子や気持ちを書き込む学習をしてきた。このことにより、多くの子どもたちが登場人物の様子や気持ちを想像して、自分なりに書き込むことができるようになってきている。しかし、単に言葉の意味や言い換えだけの書き込みに終始してしまう子どもも見られ、前後の言葉や文と関係付けたり、文全体に読みを広げて想像したりするまでには至っていない。

また、「友達とのかかわり」では、一人学びの後にペアで考えを伝え合った後、全体での話し合いをしている。自分の考えを一对一で伝えることに慣れてきており、全体での発表の意欲につながっている。しかし、自分の考えに自信がもてず、発表をとまどう子どもも少なくない。全体での話し合いでは、自分の考えと比べながら友達の考えを聞き、友達の考えに関連させて自分の考えを発表することができるように取り組んでいるところである。

(3) 指導にあたって

①教材文とのかかわり

本単元では、時間の経過を意識して読んでいくことを大切に、このような時代が確かにあったということを認識する中で、平和の重みを実感し、平和を守っていくことの大切さに気付いていくような学習にしたい。

「学習計画」の段階では、戦争を題材にした物語のコーナーを設置し、読み聞かせをしたり紹介したりして、並行読書への意欲をもたせるとともに、戦争の悲惨さや当時の人々の苦しい生活の様子をとらえることができるようにしたい。

「課題追究」の段階では、まず、戦争という厳しい社会状況の中で幼いゆみ子を見守る両親

の深い愛情と悲しみ、戦争によってゆみ子一家から喜びやささやかな幸せが奪われていったことをしっかりと読み取らせたい。そのために、ゆみ子やゆみ子の両親の会話や行動、情景を表す文などから大事な言葉を選んでノートに書き抜き自分の考えを書いたり、音読したりする。特に繰り返し出てくる言葉「一つだけ」や、対比的な表現に着目させて学習を進めていきたい。戦中と戦後の場面を読み比べる学習では、戦争によってたくさんのものが奪われていながら、戦争が奪えなかったものは何かについて考えを深めさせていきたい。

「課題解決」の段階では、読み取ったことをもとに「一つの花」という題名について考えたことを話し合い、「一つの花」の意味するものについて考えを深めさせていきたい。

②友達とのかかわり

一人一人が読み取ったことや想像したこと、感想などを出し合い交流する中で、自分の気付かなかった考えや自分と違う感じ方があることに気付かせ、学習を深めていきたい。そのために、まず自分の読み取ったことを発表できるように、大事な言葉を見つけてノートに書き抜き、自分の考えを書かせ、ペアで考えを伝え合い、自信をもたせることで全体の場での発表につなげたい。

全体の話合いでは、自分と友達の考えの共通点や相違点に気を付けながら聞くことを心がけさせ、友達の考えにつなげて発表ができるようにしていきたい。

また、戦争を題材にした作品を並行読書し、最も心に残った作品について感想を書き交流する活動を通して、戦争に関する作品にできるだけ多くふれさせ、戦争や平和について考えを深めさせていきたい。

3. 単元の目標

観 点	目 標
国語への 関心・意欲・態度	・戦争を題材とした物語を進んで読んだり、登場人物の様子を叙述をもとに想像しながら読み取ったりしようとする。
読む能力	・場面を比べながら登場人物と場面の情景を、叙述をもとにしなが ら読むことができる。(ウ) ・題名にこめられた作者の思いについて自分なりの考えをもち、友 達の考えと比べることができる。(エ)
言語についての 知識・理解・技能	・題名や時代背景を理解するために、必要な語句を増やすことがで きる。エ(ア)

4. 単元の指導計画と評価規準（12時間 読むこと 12時間）

段 階	時 間	○学習の目標 ・主な活動	評価規準（評価方法）		
			国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
学 習 計 画	1	○ 単元全体の学習の見通し と、戦争を題材にした物語 を進んで読もうとする意欲 をもつことができる。 ・「一つの花」を学習しなが ら、戦争を題材とした物語 を読み、感想を書き交流す ることを知る。 ・戦争を題材にした物語の読 み聞かせや、紹介を聞き、 並行読書への意欲をもつ。	・戦争を題材にし た作品を進んで 読もうとしてい る。 (挙手・発言)	・読み聞かせを感 想をもちながら 聞いている。 (挙手・発言)	
	2	○ あらすじをつかみ初発の 感想をもつことができる。 ・題名の「一つの花」の「一 つ」という表現に着目しな	・登場人物や戦中 の様子に関心を もち感想や疑問 を書こうとして	・登場人物や戦中 の様子に関心を もち感想や疑問 に思ったことを	・「一つ」とい う言葉に着目 している ・新出漢字の読

	<p>がら、教師の範読を聞き、初発の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の練習をする。 	<p>いる。</p> <p>(ノート・態度)</p>	<p>理由を付けて書いている。</p> <p>(ノート)</p>	<p>み方を理解している。</p> <p>(ノート・発言)</p>
	<p>3 ○ 場面毎に読みの課題を作り、学習計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初発の感想をもとに話し合い、学習課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想や疑問を交流し合いながら、学習課題を設定しようとしている。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景やゆみ子に対する両親の思いに視点を当て、感想や疑問を交流し合い、学習課題を設定している。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を考えるために、必要な語句に気付く。 <p>(ノート)</p>
課題追究	<p>1 ○ 戦時下の生活の厳しさや、その中でゆみ子が育った様子を読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物や町の様子、母親の言葉から時代背景を読み取る。 ・ゆみ子が「一つだけちょうだい」を最初に覚えた理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆみ子が「一つだけちょうだい」という言葉を最初に覚えてしまった理由を考え、時代背景を読み取ろうとしている。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆみ子が「一つだけちょうだい」という言葉を最初に覚えてしまった理由を考え、叙述をもとに時代背景を読み取っている。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を考えるために、必要な語句に気付き、意味を理解している。 ・「～だの、～だの」や、文末表現に気付いている。 <p>(ノート・発言)</p>
	<p>3 ○ いつ終わるかも分からない戦時下で、ゆみ子の将来を心配する父親の気持ちを読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父親の会話や行動から、ゆみ子の将来を心配する気持ちを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動に着目して、ゆみ子に対する父親の気持ちを読み取ろうとしている。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動に着目して、ゆみ子に対する父親の気持ちを読み取っている。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を考えるために、必要な語句に気付き、意味を理解している。 ・ダッシュの表現に気付いている。 <p>(ノート・発言)</p>
	<p>4 ○ 見送り当日の家族の様子や、父親を気遣う母親の気持ちを読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの人の様子と比べながら、ゆみ子の家族の様子を読み取る。 ・ゆみ子の泣き顔を父親に見せたくなかった母親の気持ちを、叙述をもとに読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対比的な表現や情景を表す叙述に着目して、見送り当日の家族の様子や母親の気持ちを読み取ろうとしている。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対比的な表現や情景を表す叙述に着目して、見送り当日の家族の様子や母親の気持ちを読み取っている。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を考えるために、必要な語句に気付き、意味を理解している。 ・文末表現に気付いている。 <p>(ノート・発言)</p>
本時	<p>5 ○ 一つの花にこめられた父親の気持ちを想像しながら読むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスモスの花の咲いている様子を読み取る。 ・泣き出したゆみ子に一輪のコスモスを手渡した父親の気持ちを読み取る。 ・何も言わずに汽車に乗って去っていく父親の気持ちを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や行動に着目し、一輪のコスモスに託した父親の気持ちを読み取ろうとしている。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一輪のコスモスに託した父親の気持ちや願いを、コスモスの花の咲いている様子や、父親の会話行動に着目して読み取っている。 <p>(ノート・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を考えるために、必要な語句に気付き、意味を理解している。 ・倒置法やダッシュの表現に気付いている <p>(ノート・発言)</p>

	6	○ 十年後のゆみ子と母親のささやかで平和な生活の様子を読み取ることができる。 ・戦中と比べながら生活の様子を読み取る。 ・ゆみ子がどのように成長したのか読み取り，戦争が奪ったもの，戦争が奪えなかったものについて考える。	・戦中と比較し，十年後の親子の生活の様子や，ゆみ子の成長を読み取るうとしている。 (ノート・発言)	・戦中と比較し，十年後の親子の平和な生活の様子や，ゆみ子の成長を読み取っている。 (ノート・発言)	・比喩表現に気付いている。 (ノート・発言)
課題解決	1	○ 読み取ったことをもとに題名について考え，感想を書き交流することができる。 ・「一つの花」の意味することを考え，感想を書く。 ・感想を交流し合う。	・題名について考えたことや，自分の感想を書き，発表しようとしている (態度)	・「一つの花」の意味するものや，父母の愛情や平和への願いにふれながら感想を書き，友達の感想との違いに気付いている。 (ノート)	・自分の考えたことを表現するために，必要な語句を増やしている。 (ノート)
発展	1・2	○ 戦争を題材にした作品を読み，特に心に残った作品を選びカードに感想を書き交流する。 ・作者の願いについて考えながら作品を読む。 ・心に残ったことや，戦争や平和について考えたことをカードに書き，交流する。	・作者の願いや平和について考えながら作品を読み，考えたことをカードに書き，交流しようとしている。 (態度)	・作者の願いや平和について考えながら作品を読み，考えたことをカードに書いている。 (カード・発言)	・表現したり理解したりするために，必要な語句を増やしている。 (カード)

5 本時の学習（課題追究 5 / 6）

(1) 学習の目標

一つの花にこめられた父親の気持ちを想像しながら読むことができる。

(2) 評価規準

【読む能力】

- ・一輪のコスモスに託した父親の気持ちや願いを，コスモスの花の咲いている様子や，父親の会話・行動に着目して読み取っている。

(3) 展開

段階	学習活動	教師のはたらきかけと評価
課題把握と見通し	1. 前時の学習を想起する。 2. 本時の学習場面と課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> お父さんは，どんな思いでコスモスの花をゆみ子にわたしたのだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・見送り当日の家族の様子や，母親の気持ちを想起させる。 ・父親がゆみ子に一輪のコスモスを手渡す場面であることを確認する。 ・一斉読することで課題を把握させる。
5分	3. 課題解決への見通しをもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・コスモスの咲いている様子や父親の会話，行動を表す言葉に着目しながら読むことと，大事な言葉「一つだけ」について考えるこ

		とを確認することで、課題解決につなげるようにする。
課題追究	<p>4. 本時の学習場面を音読する。</p> <p>5. 一つの花にこめられた父親の気持ちを読み取る。</p> <p>(1) コスモスの花の様子について読み取る。</p> <p>(2) 父親のゆみ子への思いが表れている言葉を書き抜いて、自分の考えを書く。(一人学び)</p> <p>(3) 一輪のコスモスに託した父親の思いを話し合う。</p> <p>(4) 汽車に乗って去っていく父親の気持ちを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ところが」や「いよいよ汽車が入ってくる」というときになって」という言葉に着目し、別れが迫っているときに、ゆみ子の「一つだけちょうだい。」が、また始まったことを押さえさせる。 ・P9L13～P11L13までを、2名に音読させる。 ・音読を聞きながら、父親の会話、行動、コスモスの様子にサイドラインを引くことを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「はしっぽ」「ごみ捨て場のような所」「わすれられたように」などの言葉に着目させ、コスモスが強く、美しく、けなげな姿で咲いていることをとらえさせ、コスモスの花が象徴しているものについて考えさせる。 ・言葉を書き抜くことができない子どもには、「一つだけ」、「一つだけのお花」やダッシュなどに着目させ、父親の気持ちを考えて書くように助言する。 【教材文とのかかわり】 ・自分の考えをペアで伝え合う。 【友達とのかかわり】 ・全体で話し合い、一輪のコスモスに込めた父親の思いについて考えを深めさせる。 ・泣きやんで笑顔を見せてほしいという思いだけでなく、コスモスの花に込めた思いや願いを考えさせる。 ・これまで「一つだけ」は食べ物であったことや、第二場面のゆみ子の将来を心配する父親の思いを想起させ、最後の別れになるかもしれない状況で、父親がゆみ子に伝えたいことは何なのかを考えさせる。 ・自分の考えを発表するだけでなく、友達の考えにつなげて、発表できるようにする。 【友達とのかかわり】 ・ゆみ子の喜ぶ姿を見た後の父親の様子「にっこり笑う」「何も言わずに」「一つの花を見つめながら」から、汽車に乗って去っていく父親の思いを想像させる。
27分		
課題解決	<p>6. 課題に対するまとめをする。</p> <p>(1) 一輪のコスモスの花に込められた父親の思いを、視点に沿ってノートにまとめる。 (視点) ①コスモスを渡した直接の動機 ②ゆみ子の将来に対する願い ③「何も言わずに、一つの花を見つ</p>	<p>【具体的評価規準（方法）と指導の手だて】</p> <p>一輪のコスモスの花に込められた父親の思いを、想像して書いている。(ノート) (例) お父さんは、これが最後の別れになるかもしれないので、ゆみ子に笑顔を見せてほしかった。そして、ゆみ子にコスモスの花のように、美しく強く育ってほしい、とい</p>

8分	<p>めながら」行く父親の気持ち</p> <p>(2) まとめたことを発表する。</p> <p>(3) 読み取ったことをもとに音読する。</p>	<p>う思いをこめて、コスモスの花をわたした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点①、②について書くことができた子どもには、③についても書かせるようにする。 ・なかなか書くことができない子どもには、ヒントカードを与えまとめさせる。 <p>・2～3名を指名し発表させる。</p> <p>・P10L10～P11L13までを読み取ったことをもとに音読する。 (指名読み1名)</p>
まとめ	7. 学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが更に深まった点や、友達の発表から新たに気付いた点、感想等を2～3名に発表させる。 ・子どもが気付かなかった頑張りやよさを教師が補足し、今後の学習への意欲につなげる。
5分	8. 次時の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・十年後のゆみ子とお母さんの生活の様子を読み取ることを確認する。

(4) 板書計画

お父さんは、これが最後の別れになるかもしれない。ゆみ子にコスモスの花のよう美しく強く育ってほしい、という思いをこめてコスモスの花をわたした。

一つの花を見つめながら
何事も言わずに
にっこり笑う

挿絵

- ・ゆみ子、笑顔を見せて
- ・ゆみ子にあげられる最後のもの
- ・かもしれない
- ・コスモスのように美しく強く育つて
- ・心のやさしい子になって
- ・幸せになって
- ・美しいものを大事にして

四の場面
一つの花
今西祐行

お父さんは、どんな思いでコスモスの花をゆみ子にわたしたのだろう。

一輪のコスモスの花
プラットホームのはしっぱ
ごみ捨て場のようにな所
わすれられたようにさいていた
「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。
一つだけのお花、大事にするんだよう——。」

美しい
強い